

令和 5 年 2 月 19 日

守谷市議会議長 殿

委員長： 長谷川 信市 印

報告者： 山本 広行 印

守谷市立守谷中学校 視察・研修報告

標記の件について、次のとおり 実施 ・ 参加 したので報告します。

視察・研修日	令和 5 年 2 月 17 日 (金)	
視察・研修場所	守谷市立守谷中学校	
視察・研修項目	総務教育常任委員会 視察研修	
参加者	守谷市側	長谷川委員長、高橋議長、青木委員、山田委員、山本
	相手側	町田教育長、守谷中・越智校長、黒内小・荒井校長
視察・研修目的	(1) 教員働き方改革の現状と課題について (2) フリースペース見学	
視察・研修内容	教員働き方改革の現状と課題について	
視察・研修総括 (今後の取組み等)	黒内小、守谷中という市内で最もマンモス校となる小中2校の校長また市教育長と懇談。教員働き方改革に紐づく守谷型カリキュラムマネジメント導入により、教員の時間外勤務減少の成功例の紹介。また現状を知った他市町村や文科省からの視察も増えている現状である。	

視察・研修内容

御三方の話を要約すると、昨年度と比較し、働き方改革の中で数字としても時間外勤務時間は、昨年度月平均 68 時間から今年度月平均 49 時間となっている。この理由は GIGA スクール構想の成果が大きい。また黒内小では、連絡帳、朝の欠席連絡を電話から WEB へ移行したことにより、30~40 件の電話対応が無くなったことで、朝の時間短縮、また校舎内への作品の展示も無くし、クラウド保存に変更したことで、業務の効率・短縮化が図れた。また紛失等の事故もなくなったとのこと。

また放課後のゆとりができたため、児童生徒との関わりが今までより持てる時間が増えた。また教員一人の退勤時間を早くするためにも個々の意識も変革していったとのこと。

他市町村からは、「なぜ守谷市はこれができるのか。うちにはできない」などと決めつけており、意識から変えようという強い意志がないためと思われる。

LGBTQ の事も鑑み、当初は女子生徒の制服にスラックスを取り入れても、誰も着用しないだろうとの声もあったが、取り入れてからは徐々に選択する生徒が増えつつある現状であるとのこと。（当日、実際に着用していた女子生徒を見かけている）

県教育委員会からの無駄と思える調査、報告等は変わらずある現状ではあるが、市教委として不要と思える箇所に関してはお断りをしていることも大きい。

そして時間的ゆとりができたため、ある問題が起きてから対処ではなく、その問題自体を未然に防いでいるケースがあることも大きいとのこと。

守谷型カリマネの効果により、昨今では守谷市で教鞭を取りたいと望む教職員は増えている。また現在の先生方の先を見据える姿勢にもいささか余念がない。

現在はまだ途上であり、これからの新たな課題等が芽生える可能性も見据えながら、今後の働き方改革の進捗に目が離せないところである。